

ク ラ ツ チ

概 説	8-2
トラブル シューテイング.....	8-2
一般調整と修理	8-3
クラッチ ペダルおよびブレーキ ペダル	8-3
マスタ シリンダ.....	8-4
レリーズ シリンダ.....	8-5
クラッチ本体	8-6

概 説

第8-1表 クラッチ関係仕様

型 式		乾 燥 単 板
フ ェ ー シ ン グ (外 径 × 内 径 × 厚 さ)		224mm×160mm×3.5mm
フ ェ ー シ ン グ 全 摩 擦 面 積		192.6×2 cm ²
フ ェ ー シ ン グ 材 質	フ レ ッ シ ャ プ レ ー ト 側	セ ミ モ ー ル ド
	フ ラ イ ホ イ ー ル 側	セ ミ モ ー ル ド
ト ー シ ョ ン ゴ ム 個 数		6
マ ス タ シ リ ン ダ 内 径		15.87mm
レ リ ー ズ シ リ ン ダ 内 径		19.05mm

トラブル シューテイング

現 象 お よ び 推 定 原 因	処 置
クラッチすべり 1 レリーズ フォーク先端の遊びがない 2 クラッチ フェーシングにオイル付着 3 クラッチ フェーシング摩耗 4 ダイアフラム スプリング衰損 5 プレッツシャ プレート, フライホイールのひずみ	遊び調整 ディスク交換 ディスク交換 スプリング交換 修正または交換
クラッチ切れ不良 1 レリーズ フォーク先端の遊び大 2 ダイアフラム スプリング衰損または先端摩耗 3 リトラクテイング スプリング不良 4 ベアリング (インプット シャフト フロント用) の摩耗または破損 5 クラッチ ディスク ハブ スプラインの摩耗 6 クラッチ ディスク振れ大 7 シリンダ カップ (マスタ用) の衰損または変形 8 シリンダ カップ (マスタ用) の油漏れ 9 シリンダ カップ (レリーズ用) の油漏れ 10 オイル ラインにエア混入	遊び調整 スプリング交換 リトラクテイング スプリング交換 ベアリング交換 ディスク交換 ディスク交換 シリンダ カップ交換 シリンダ カップ交換 シリンダ カップ交換 エア抜き
クラッチびびり 1 フェーシング硬化 2 フェーシングにオイル付着 3 ディスク トーション ゴム破損または衰損 4 フェーシング当たり不良またはディスク振れ大 5 プレッツシャ プレート, フライホイールのひずみ 6 エンジン マウンテイングのゆるみまたは衰損 7 ディスク リベットのゆるみ	表面をサンド ペーパーで修正または交換 ディスク交換 ディスク交換 ディスク交換 修正または交換 締め付けまたはマウンテイング交換 ディスク交換

現象および推定原因	処 置
クラッチ騒音 1 レリーズ ベアリング破損, 摩耗または潤滑不良 2 ベアリング(インプット シャフト フロント用)の摩耗 3 ディスク ハブゆるみ 4 ディスク プレートき裂 5 ディスク トーション ゴム衰損, 破損	ベアリング交換 ベアリング交換 ディスク交換 ディスク交換 ディスク交換
しゃくり 1 フェーシングにグリースまたは油付着 2 フェーシングの摩耗またはリベットゆるみ 3 フェーシング リベットの頭が露出 4 ラバー (トーション用)の衰損, 破損	ディスク交換 ディスク交換 ディスク交換 ディスク交換

一般調整と修理

クラッチ ペダル調整

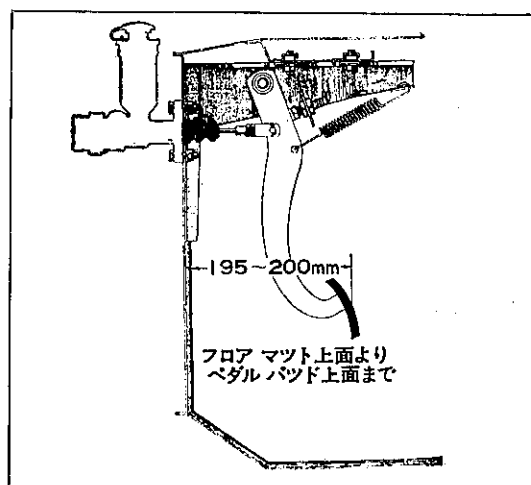
ペダル高さ 195~200mm(フロア マットより)

レリーズ フォーク先端の遊び調整

フォーク先端の遊び 2~3mm

エア抜き

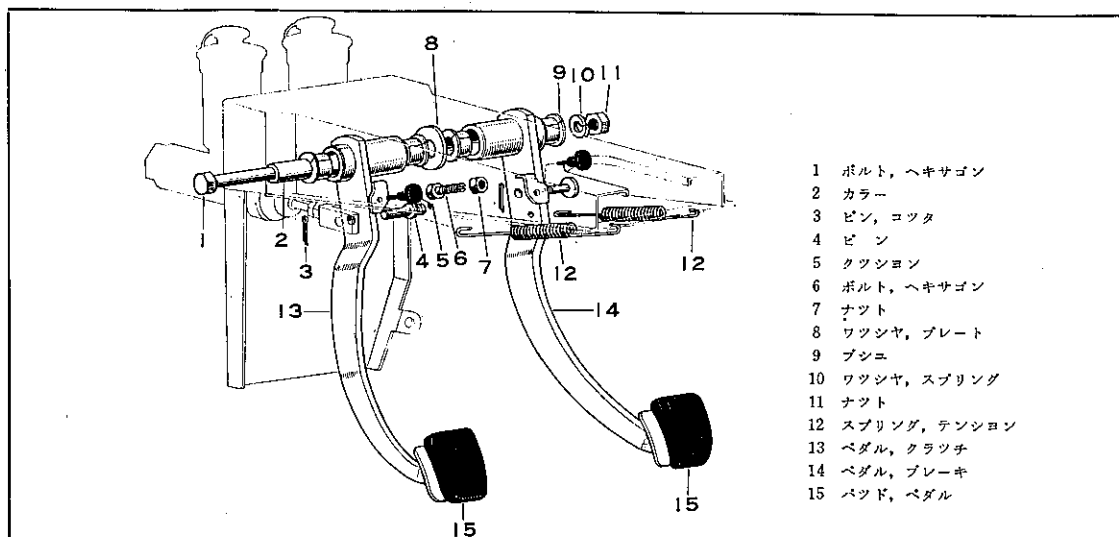
レリーズ シリンダ ブリーダ プラグで行なう。



第 8-1 図 クラッチ ペダル調整

Y5049

クラッチ ペダルおよびブレーキ ペダル 構成部品



第 8-2 図 クラッチ ペダルおよびブレーキ ペダル構成部品

Y5050

取りはずし

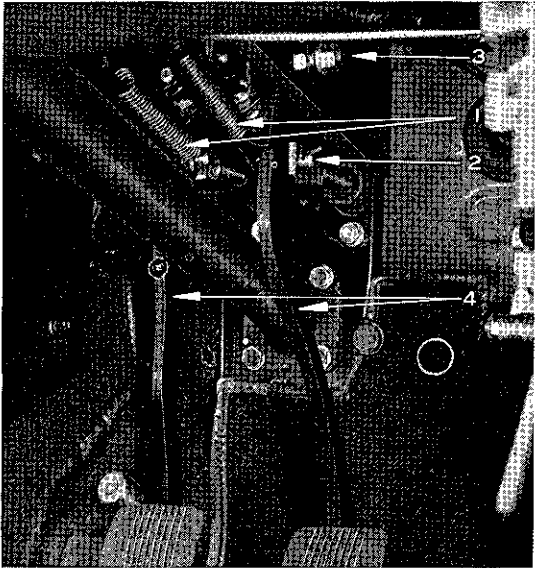
次の順序で取りはずす。

- (1) テンション スプリング (2) プッシュ ロッド
ピン (3) ボルト (4) ペダル

点 検

次のものを点検し、異常のある場合は修正または交換する。

- 1 ペダル プシユの摩耗、変形、損傷
- 2 カラーの摩耗、表面の荒れ
- 3 ペダルのねじれ、曲がり、カラーそう入部の摩耗。
- 4 クッション ゴムの損傷、摩耗。



第8-3図 ペダル取りはずし

V1265

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

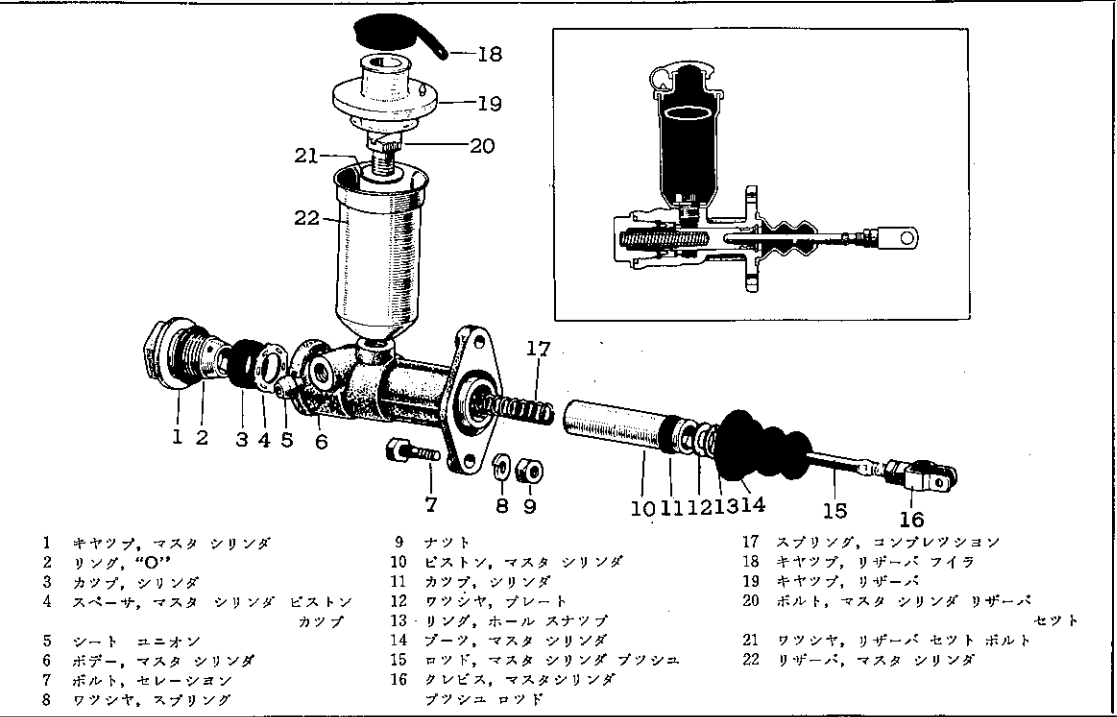
マスタ シリンダ

仕 様

第8-2表 マスタ シリンダ仕様

シ リ ン ダ 内 径	15.870~15.913mm
ピ ス ト ン 外 径	15.811~15.838mm
ピ ス ト ン と の す き 間	0.032~0.102mm

構成部品



第8-4図 マスタ シリンダ構成部品

C1278

取りはずし

- 1 マスタ シリンダ ツウ フレキシブル ホース チューブをマスタ シリンダより切り離す。
- 2 テンション スプリング、プッシュ ロッド ピンをはずし、マスタ シリンダを取りはずす。

分 解

- 1 プッシュ ロッド、シリンダ ブーツ、リザーバを取りはずす。
- 2 マスタ シリンダ キャップを取りはずす、コンプレッション スプリング、ピストン、シリンダ カップ、ピストン カップ、スパーサを取りはずす。

点 検

分解部品を第 8-3 表に付いて点検し、不具合があれば交換する。

組み付け

分解作業順序の逆に行なう。

締め付けトルク

マスタ シリンダ キャップ	18.5m・kg
リザーバ	1.7m・kg

取り付け

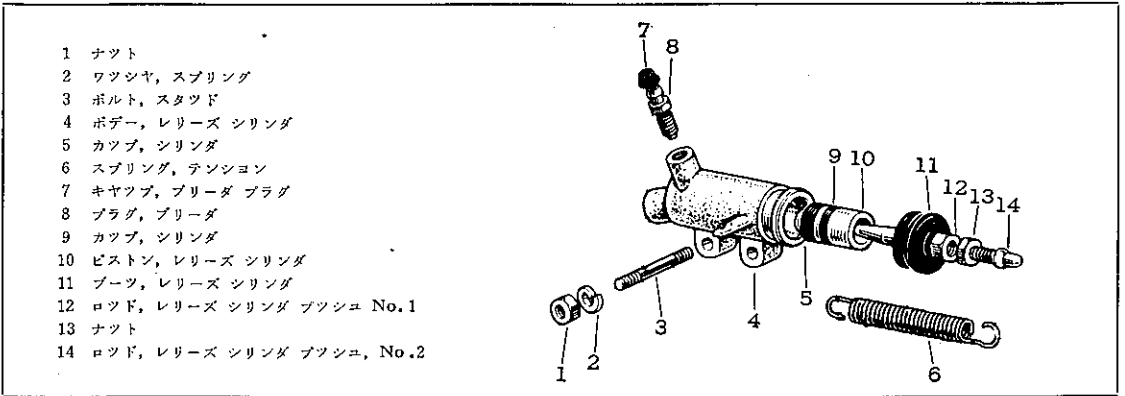
取りはずし作業の逆に行なう。

第 8-3 表 クラッチ点検

個	所	点 検 項 目	限 度 と 基 準 値
マスタ シリンダのボア およびピストン外径部		偏 摩 耗, 損 傷	
シリンダとピストンのすき間		偏 摩 耗, 損 傷	すき間限度 0.15mm 基 準 値 0.032~0.102mm
シリンダ カップ スパーサ		損 傷, 変 形, 摩 耗	
ピストン リターン スプリング			自 由 長 85.0mm 取 り 付 け 長 65.4mm 取 り 付 け 荷 重 1.5kg

リリース シリンダ

構成部品



第 8-5 図 リリース シリンダ構成部品

G0066

仕 様

第 8-4 表 リリース シリンダ仕様

シ リ ン ダ 内 径	19.050 ~ 19.102mm
ピ ス ト ン 外 径	18.995 ~ 19.020mm
ピ ス ト ン と の す き 間	0.030 ~ 0.107mm

取りはずし

- 1 レリーズ パイプをレリーズ シリンダより取りはずす。
- 2 シリンダ アッセンブリを取りはずす。

分解

- 1 プツシュ ロッドをレリーズ シリンダ ブーツとともに取りはずす。
- 2 レリーズ シリンダ ピストンをシリンダ カップ付きで取りはずす。
- 3 シリンダ カップは必要に応じてピストンから取りはずす。

点検

各分解部品は洗浄後、次の項目について点検し、不具合のある場合は交換する。

- 1 レリーズ シリンダのボアの偏摩耗、損傷。
ピストンとのすき間限度 0.15mm
- 2 レリーズ シリンダ ピストンの外径部の偏摩耗、損傷。
- 3 シリンダ カップの摩耗、損傷、変形。

組み付け

分解作業の逆に行なう。

注 レリーズ シリンダ ボアおよびピストン カップにキヤツスル ラバー グリースを塗る。

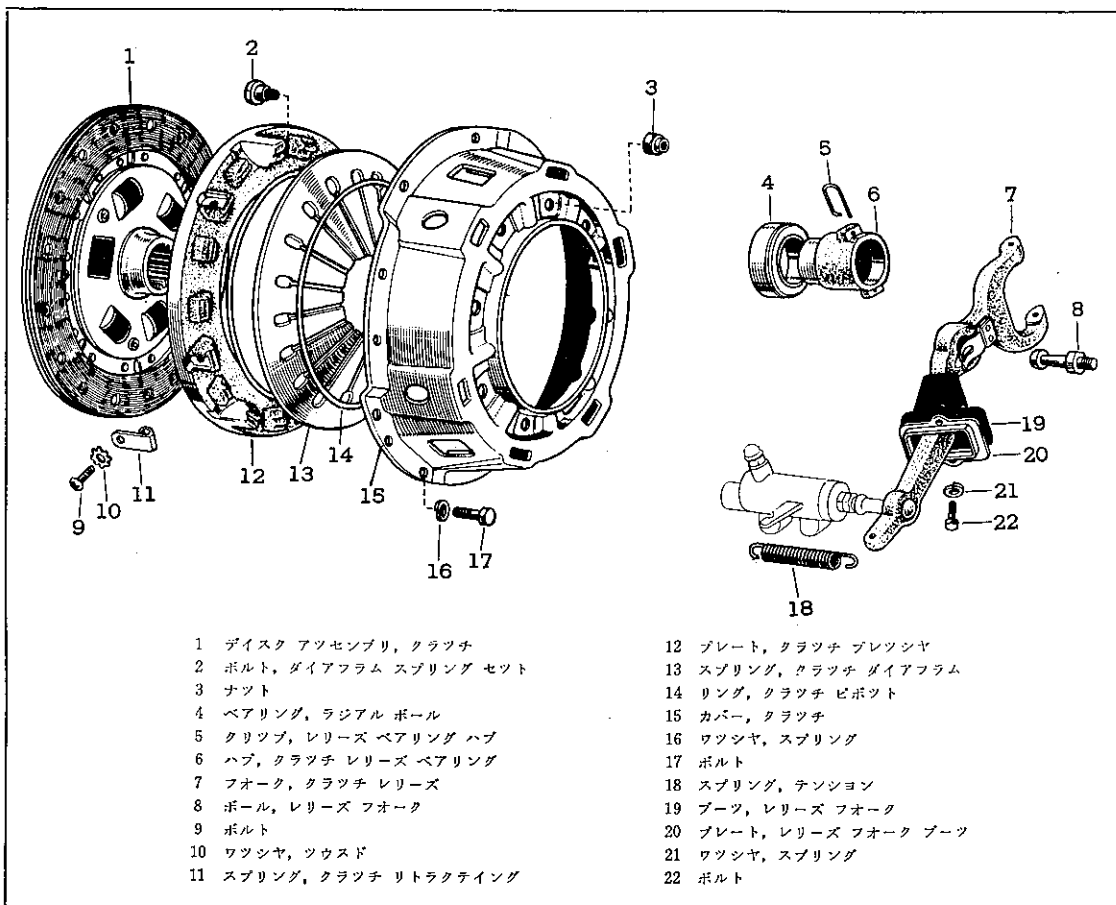
取り付け

取りはずし作業の逆に行ない、エア抜きを行なう。

レリーズ フォーク先端の遊び 2～3mm

クラッチ本体

構成部品



第 8-6 図 クラッチ本体構成部品

Y5051

取りはずし

クラッチはエンジン、トランスミッション付きで取りはずすので、エンジン本体の項 (P2-8) 参照

分 解

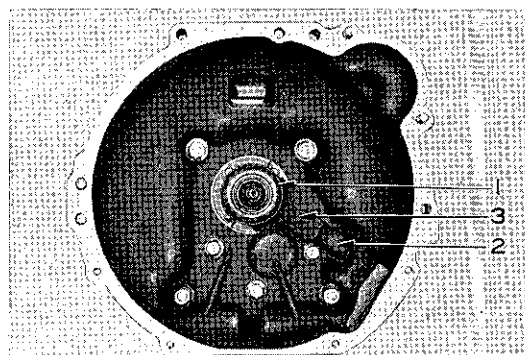
クラッチ カバー

- 1 クラッチ カバー、プレツシャ プレートに合わせマークを打ち、リトラクテイング スプリング、プレツシャ プレートを取りはずす。
- 2 ダイアフラム スプリング、ピボット リングを取りはずす。

注 クラッチはクラッチ カバー アッセンブリの状態でバランスをとつてあるので、再組み付けの際バランスをくわせないよう、すべての部品を前と同じ位置に組み付けることが望ましい。

クラッチ レリーズ フォーク

- 1 ベアリング (1) およびハブを取り、フォークブーツ (2) およびプレートを取りはずす。
- 2 フォーク (3) を取り、フォーク ボールを取りはずす。



第8-7図 フォーク取りはずし

V1266

取り付け荷重の測定

クラッチ プレツシャ テスタを使用してクラッチ カバー アッセンブリの取り付け荷重を測定する。測定値が限度 以下の場合は、ダイアフラム スプリングを交換する。

限 度	350kg
取り付け荷重	417~463kg

点 検

分解部品を第8-5 表について点検し、不具合があれば交換する。

第8-5表 クラッチ本体点検

個 所	点 検 項 目	限 度 と 基 準 値
クラッチ ディスク フェーシング トーション ラバー スプライン部 デ イ ス ク	破損, 油の付着 破 損, 衰 損 摩 耗 振 れ	リベットの沈み 0.3mm以下 振れ限度 0.5mm
クラッチ カバー プレツシャ プレート プレツシャ プレート ピボット リング リトラクテイング スプリング	カバーとの支点部分の摩耗 ディスク当たり面の摩耗 セツト ボルトとの当たり面の摩耗 折損, 損傷, 衰損	
ダイアフラム スプリング	ベアリングとの当たり面の摩耗 ピボット リングとの当たり面の摩耗	
ベアリング (レリーズ用)	回転当たり面の摩耗 引つ掛かり, 異音	
レリーズ フォーク, ベアリング ハブ フ ォ ー ク ハ ブ	ハブとの接触面の摩耗 フォークとの接触面の摩耗	
ベアリング (インプット シャフト フロント用)	摩耗, 引つ掛かり, 異音	

組み付け

クラッチ カバー

- 1 ピボット リングの回り止めを、セット ボルト穴に合わせる。
- 2 ダイアフラム スプリング セット ボルトを締め付ける。

締め付けトルク 0.4~0.7m·kg

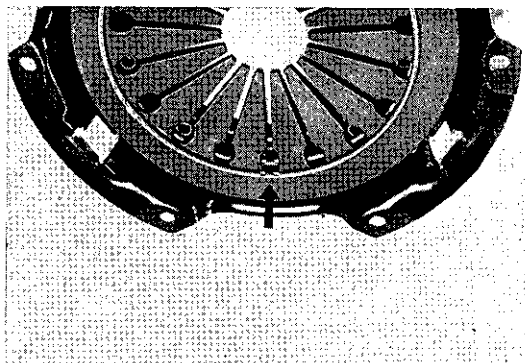
- 3 リトラクティング スプリングを組み付ける。

注

- 1 プレッシャ プレートとクラッチ カバーの合わせマークを合わせる。
- 2 ダイアフラム スプリングとのすき間がないように、プレッシャ プレートを組み付ける。

クラッチ レリーズ フォーク

分解作業の逆に行なう。



第8-8図 ワイヤリング組み付け位置

V2088

取り付け

- 1 クラッチ デイスクをクラッチ ガイド ツール〔09301-36010〕にはめ、ベアリングにそう入する。
- 2 クラッチ カバーを取り付ける。
締め付けトルク 1.0~1.6m·kg
- 3 トランスミッションを取り付け、エンジンを取り付ける。

エンジン本体の項（P2-24）を参照する。